

平成 31 年度香川大学大学院入学式 学長告辞

本日、香川大学大学院に入学された修士課程 192 名、専門職学位課程 51 名、博士（後期）課程 51 名、総計 294 名の皆さん、入学おめでとうございます。香川大学の教職員一同とともに皆さんの入学を心からお慶び申し上げます。また、これまで皆さんを支えて来られたご家族や関係者の皆様に心よりお祝い申し上げます。

さて、今日から皆さんはそれぞれの学問分野でさらに学問を究めるために新しい一歩を踏み出しました。すなわち研究者としての第一歩を踏み出されたわけです。研究を始められる皆さんと一緒にあらためて 2 つの言葉について考えてみたいと思います。それは、**science** と **art** です。キリスト教の影響が強い欧米諸国では **science** とは本来は神が創造した自然界の生命や科学、法則などのことを指します。一方 **art** は **Artificial** の語源であることから、人間の創り出すものを指すと考えられます。従って広い意味では人間が創造する全て、すなわち美術、音楽、建築、道具や歴史、物語、思想といったものが **art** と考えられます。この両者は別々のものを表現しているようですが、実は根底では深くつながっているのではないかと思います。例えば数学の定理などは、人間が **art** を駆使し、たどりついた定理は神が創造した美しい **science** そのものとも言えます。絵画や彫刻、音楽作品、建築物などが持つ美しさの中にも神が創造

したとしか思えない美しさを備えたものがたくさんあります。

大学院に入学された皆さんは、今日から人文社会科学や自然生命科学などの学問分野で真理探求の道へ足を踏み入れることとなります。そこで私が最も申し上げたいのは、研究を行うにあたっては常に正直でなおかつ謙虚でなくてはならない、ということです。真理の追究、すなわち **science** を探求するということは、**art** を駆使して神の領域に近づく行為と言えます。常に畏怖の念をもって誠実に真理を追究していただきたいと思います。真理の探究のために厳しい過程を経験されると思いますが、得られる喜びも大変大きいと思います。昨今は、我が国でも様々な研究不正が報じられていますが、真理を探究する行為において、常に神への畏怖を持ち、謙虚に進めば起こるはずのないことです。本学大学院での皆さんの健闘を期待しています。

さて、研究を始めるにあたって必ずしなければならない作業について少し触れたいと思います。それは、研究テーマの基礎となる **research question** を明らかにする作業です。何となく自分の指導教員がこのテーマを研究しろと言われただけで研究に着手しました、というようなことがままありますが、これではめざましい成果を得ることは難しいと覚悟しなければなりません。それぞれの学問分野には明らかにしなければならない課題がたくさんあるはずですが、その中から、本当に自分が明らかにしたい課題、すなわち **research question** を設定してください。この

step がとても大事だと思うのは、この過程で皆さんの心の中に研究に対する継続的なモチベーションが醸成され、最終的に研究の成功に結びつくと思うからです。

本日から大学院に入学された皆さん、人生の大切な一時期を研究に捧げられるわけです。その決心を大事にして、また皆さんを支えてくださるご家族や関係者の方々に感謝しつつ、それぞれの学問分野の art を通して science の探求を心からエンジョイされることを期待しています。

平成 31 年 4 月 3 日

香川大学長 笥 善行